

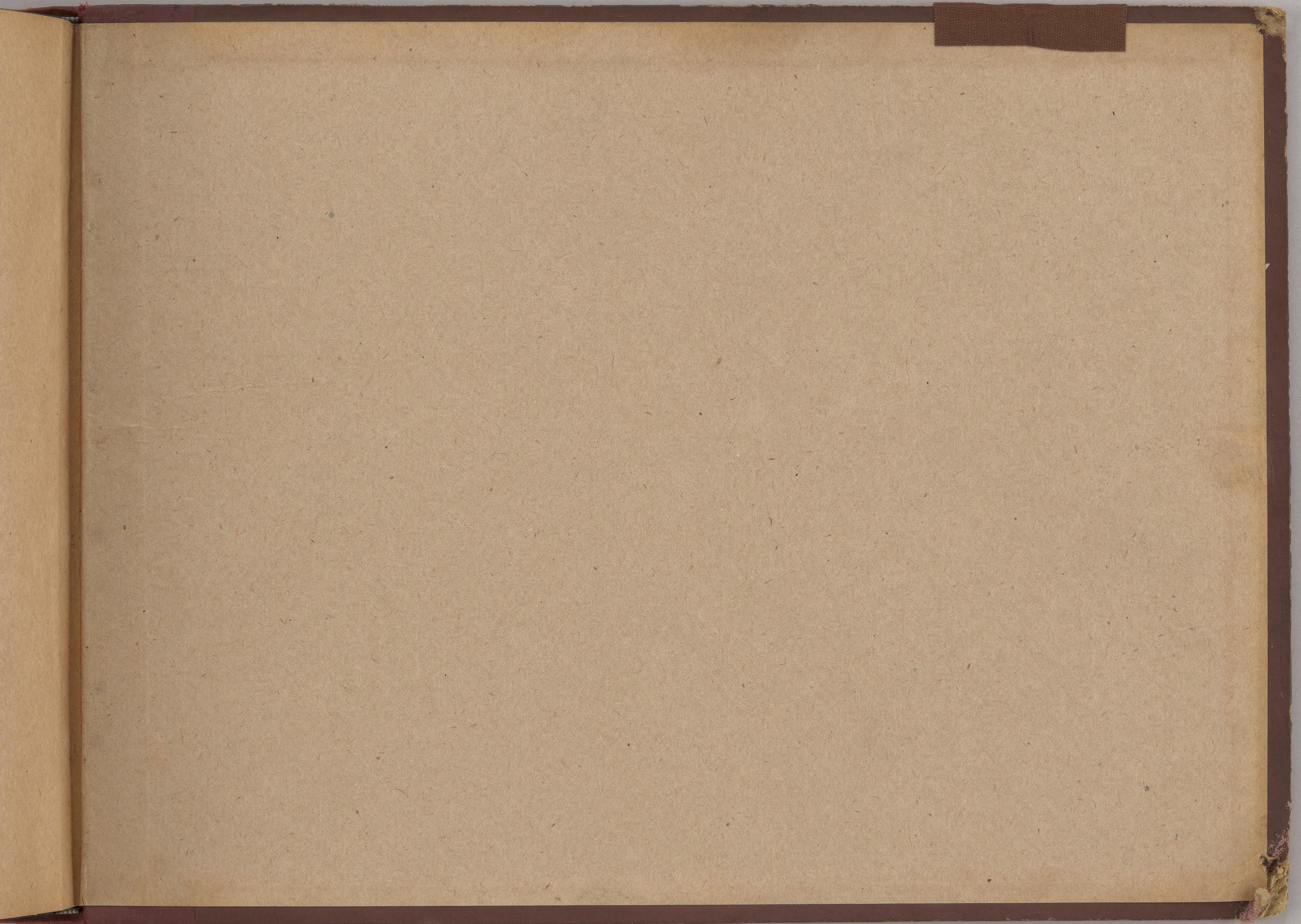


\*1201100596866\*

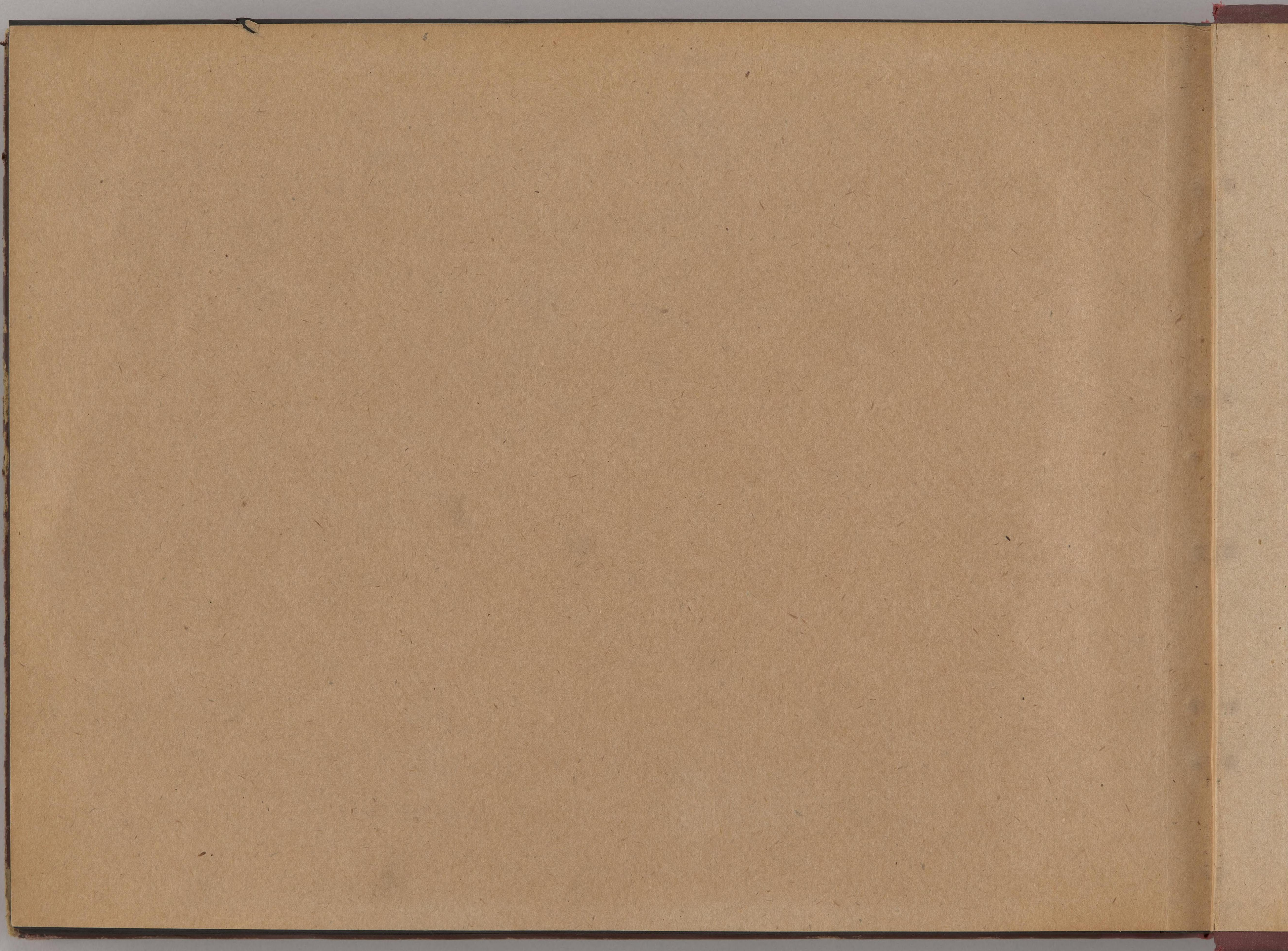


禁電子式複写





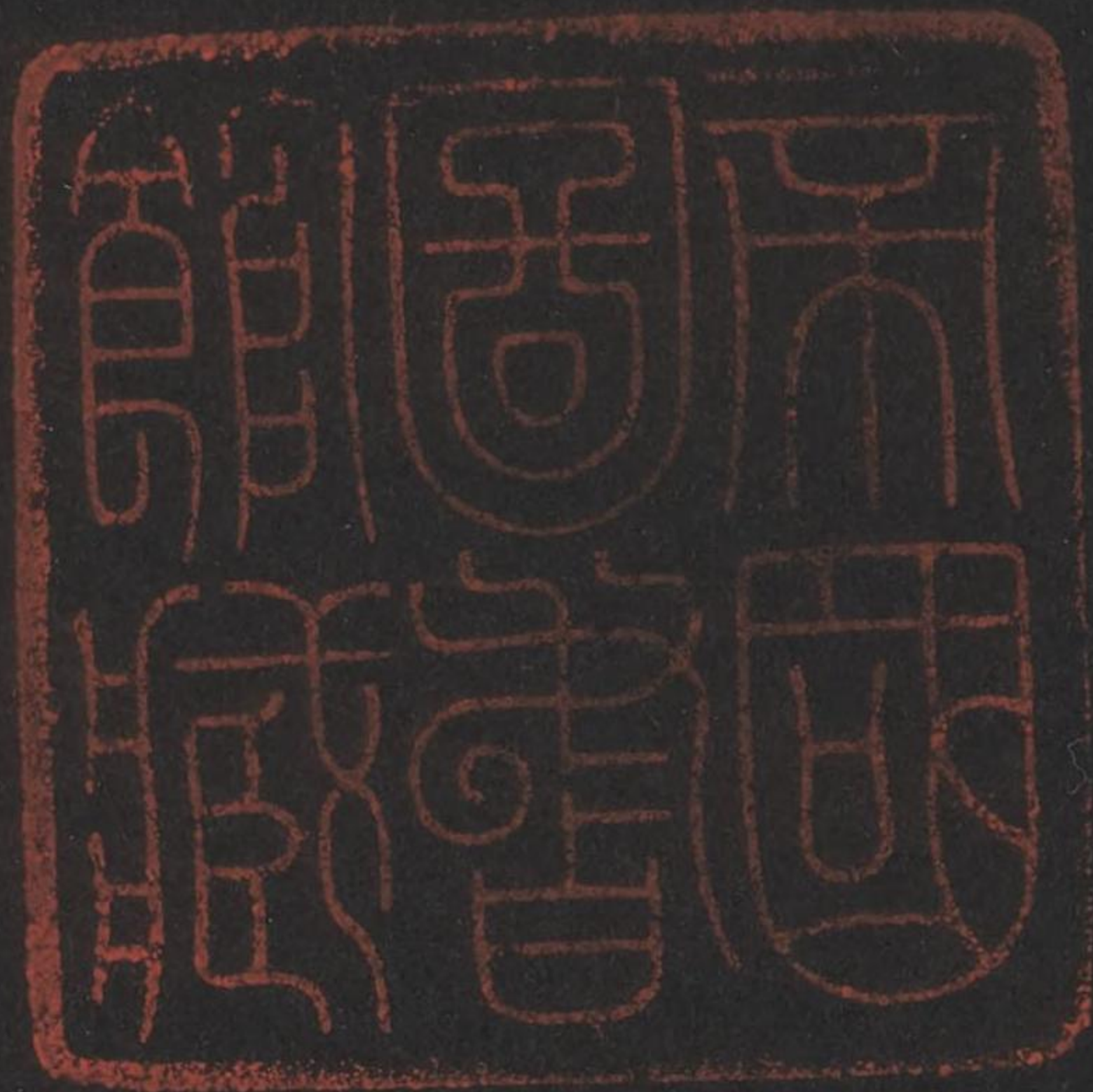




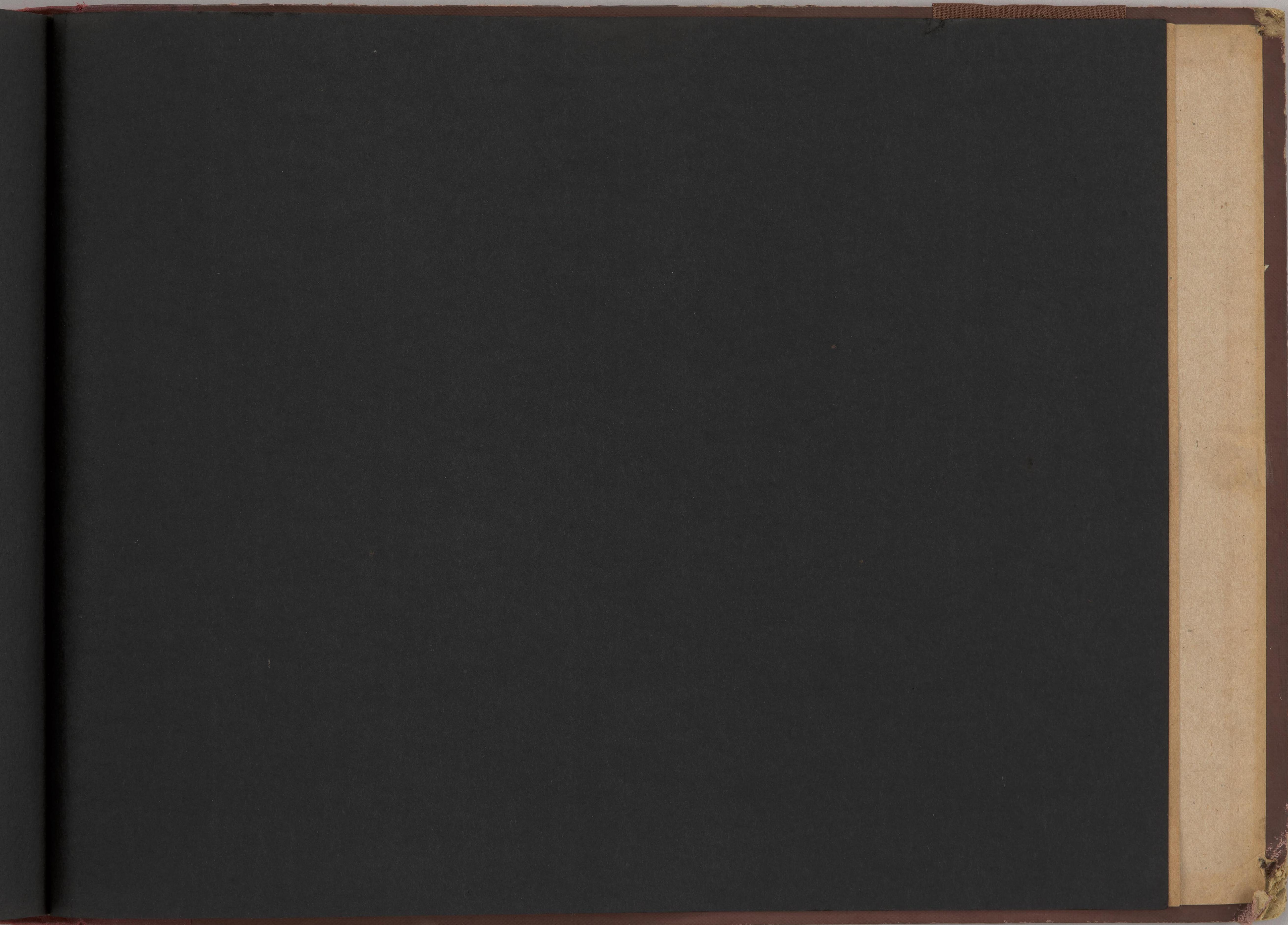




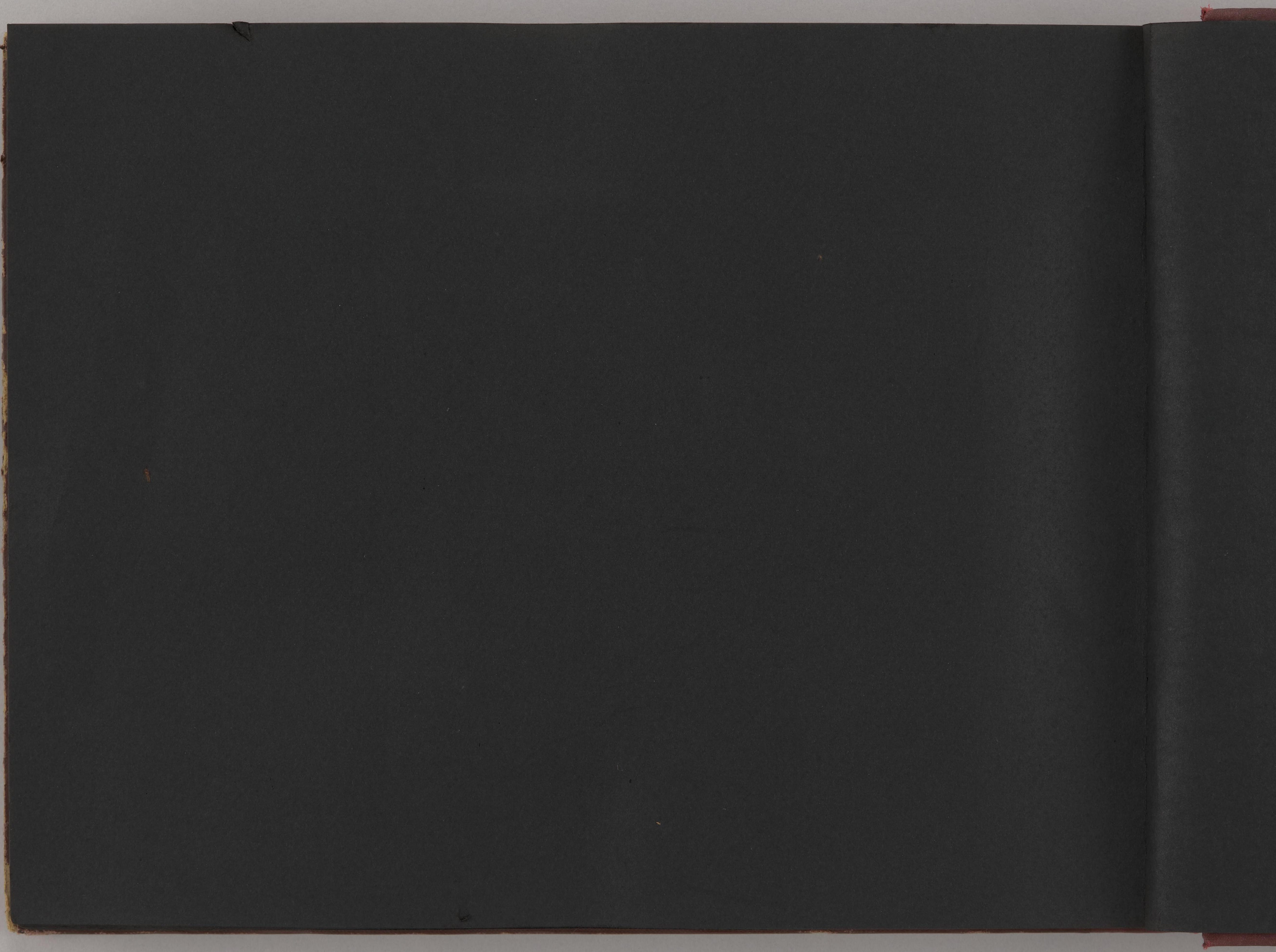














◎初の興亞記念日  
（東京）十四年九月一日  
けふ聖戦下初の興亞記念日、阿部内閣の振  
興たる誕生に國家體勢の新しき整備の成つ  
て自主獨往の意氣高く一億國民が興亞への  
體當りの覺悟を示す日だ、日本全國の律々  
浦々に至るまで、大和協力、節約貯蓄、統  
後強化的の趣旨に即して各地方毎に諸種の行  
事が行はれた  
寫眞は  
一、關東大震災十六周年參拜者で賑ふ記念  
堂



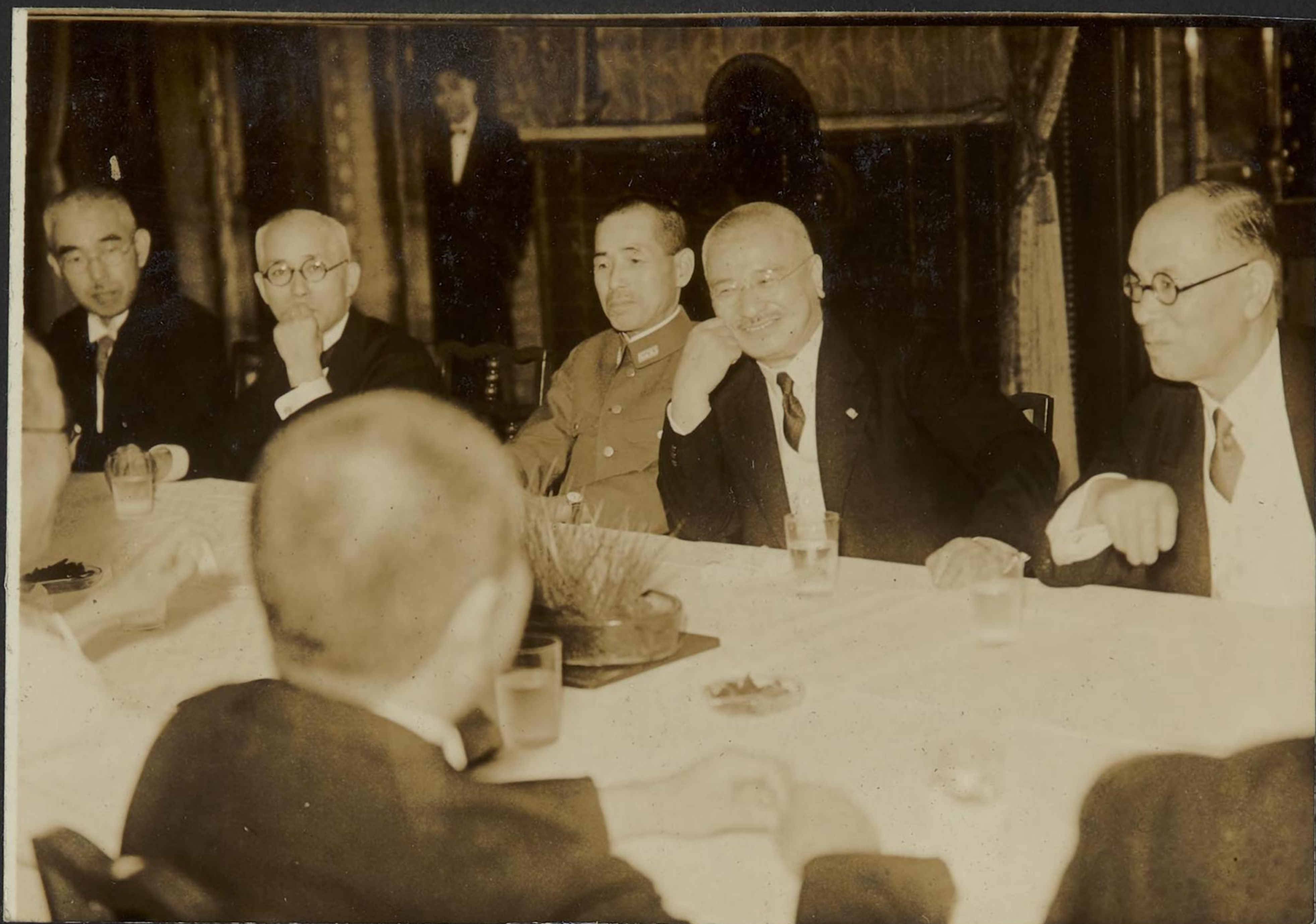






一、興亞奉公日英靈に参拜の女學生  
一、官城遙拜  
(靖國神社)





一、各大臣も一汁一菜（右から）伍堂、阿  
 部、畑、小原、金光各大臣（官邸にて）  
 一、河原田文相の放送



◎秋季リーグ戦愈々開

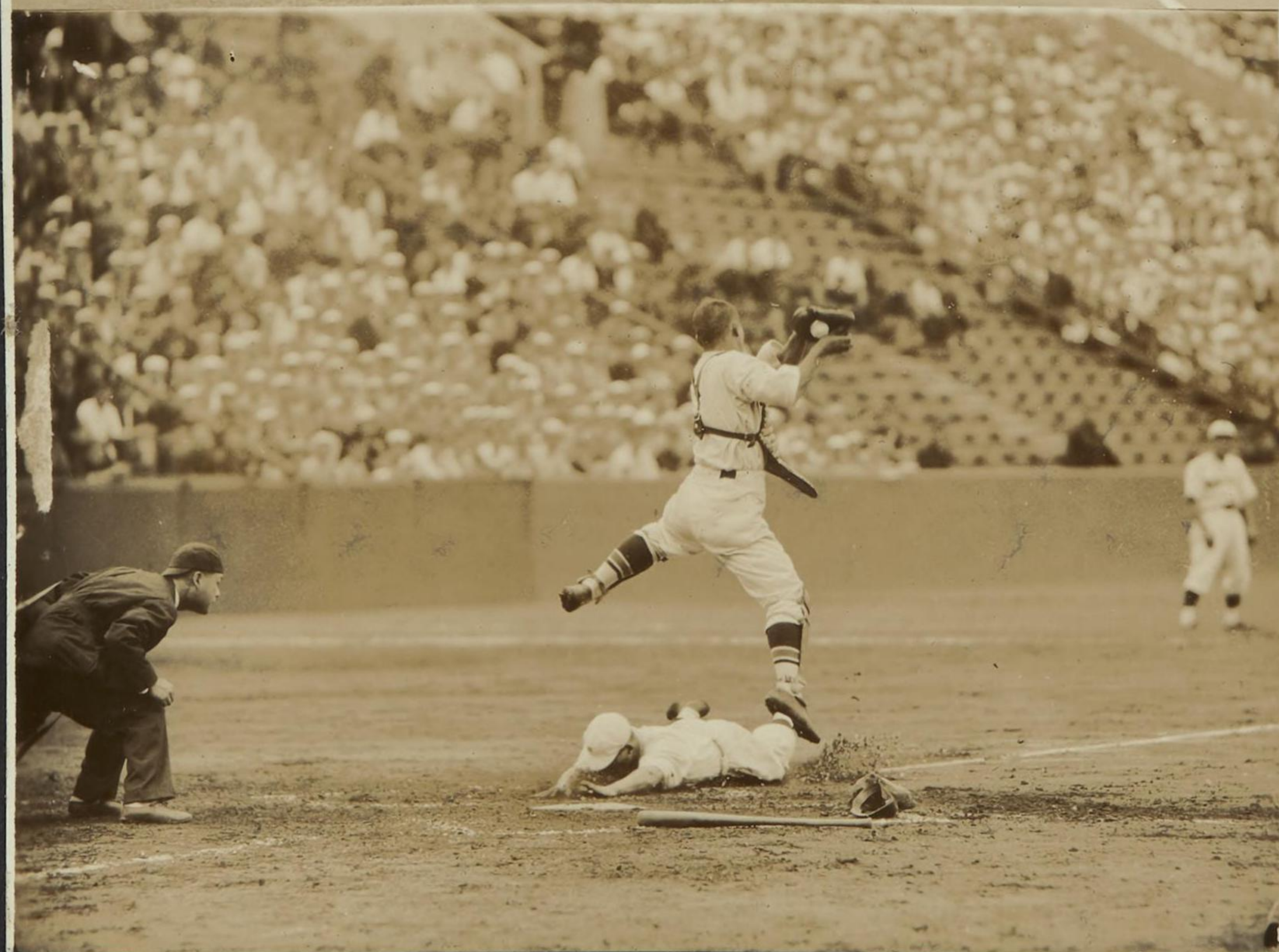
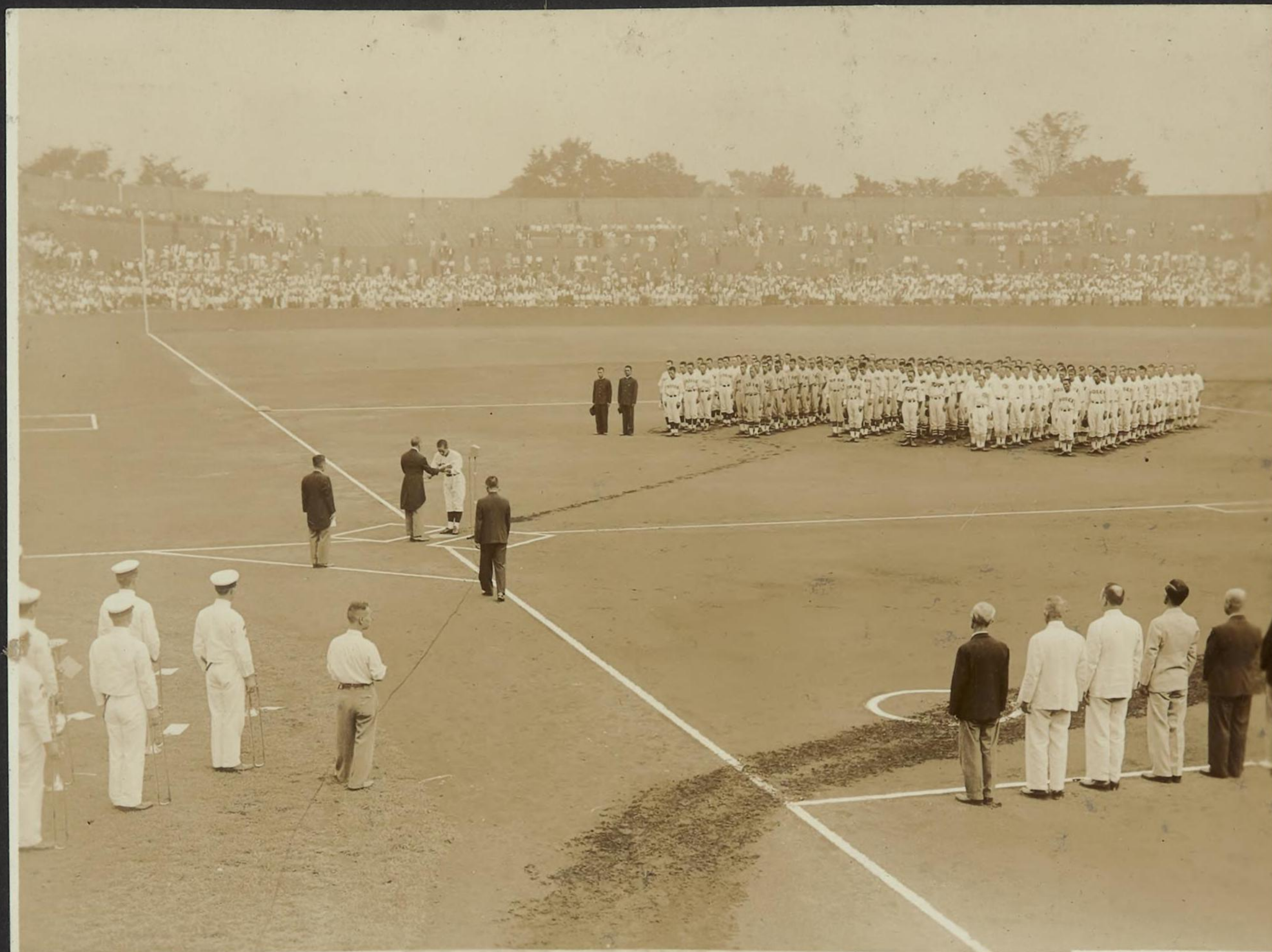
（東京）十四年九月二日

肅正に明けた東京大學野球聯盟秋季リーグ戦は愈々二日型破りの午前八時四十分から神宮球場で舉行、入場式に次いで早法、慶帝、明立の各一回戦によつて火蓋を切つた寫眞は

一、入場式

一、早法一回戦、三回表早大淺井、松井の遊翁失策に二壘よりホームイン







◎美術の秋幕開く  
美術の秋展、川端龍子の主宰する青龍展は二日から一般公開、院展、二科展は此の日は招待日、これに加へて三部會が一日か  
ら公開、在野唯一の彫刻展として氣魂を見  
せ上野の杜は百花撩亂の風景を現出、久し  
振りに藝術の香氣を求め都人士が府美術  
館を賑はした。  
寫眞は二科展（上）と院展（下）







同盟 寫眞ニユース 九月三日 一第 一 三號

◎首相、遞相明治神宮參拜

阿部首相、永井遞相は三日午前九時明治神宮を參拜した

寫眞は

- 一、阿部首相參拜
- 二、永井遞相參拜



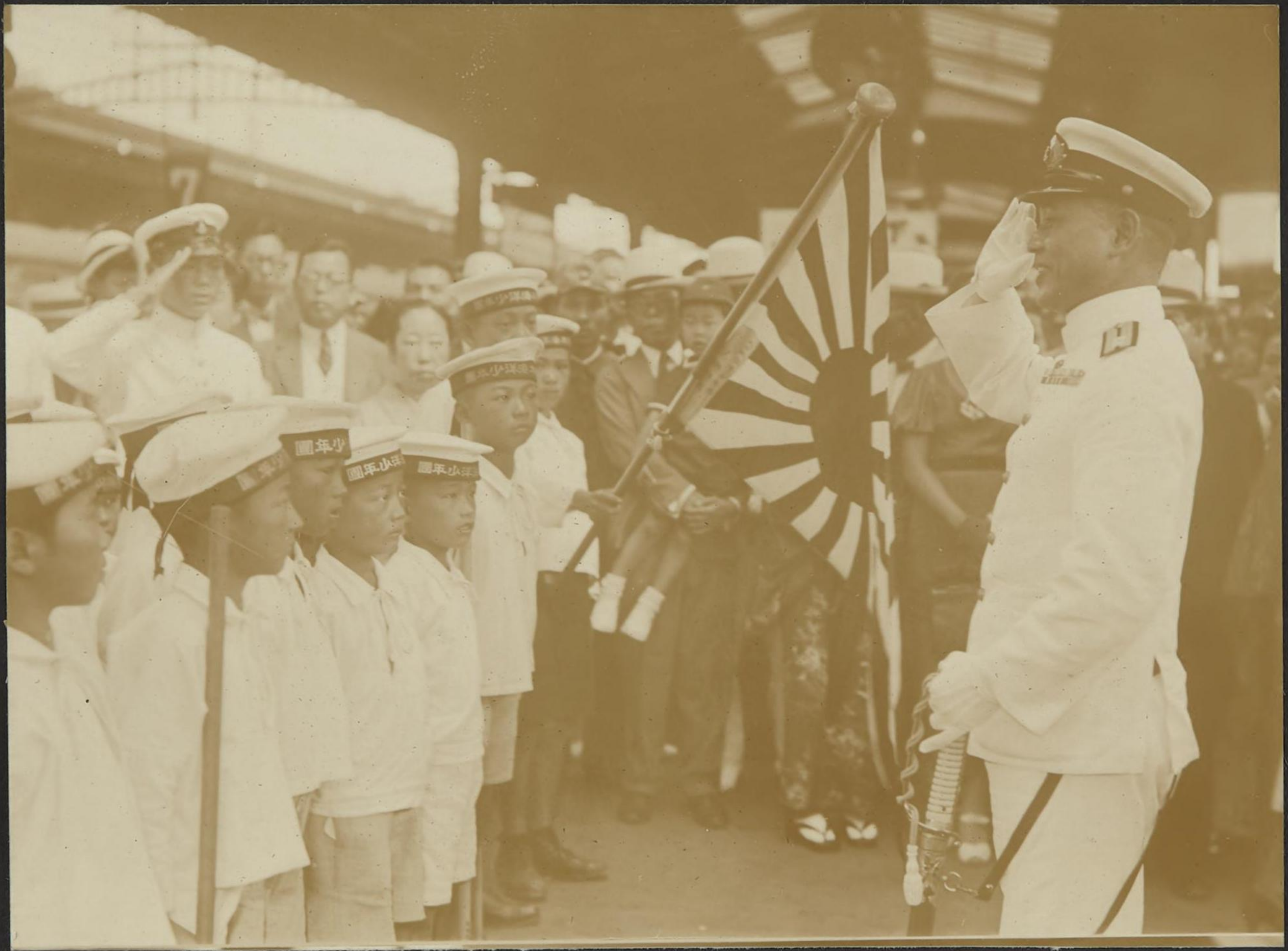






◎櫻井大佐歸京  
滿蒙國境、北、中、南支に亘る皇軍第一線を一ヶ月餘に  
亘り視察した櫻井徳太郎大佐は二日午後三時二十五分東  
京驛着列車で歸京した  
眞眞は東京驛にて





◎松島中佐赴任  
海軍省軍事普及部の主松島中佐は中支某方面の第一線要  
職に榮轉、三日午前十時半東京驛發赴任した  
寫眞は見送りの海洋少年團に挨拶する松島中佐



同盟

寫眞ニユース

九月三日

(第四十七號)

◎東京大學野球リーグ戦

東京大學野球秋季リーグ第二日明立、慶帝、早法各二回  
戦の三試合は三日神宮球場にて舉行された

寫眞は

- 一、球場外に腕艇と列を作る觀衆
- 二、明立第二回戦七回裏立大櫻井一壘に刺さる







同盟協定 海外ユニオニス 十四年九月十四日

◎ 歐洲第二の大戦へ

（コーナーストリトニア）發同盟

獨逸開戦のため國境警備に出動するリトニア

ア歩兵部隊（上）

（パリ）發同盟

遂に英佛は對獨宣戦を爲すに至つた、佛國境にも既に萬全の兵備は出來てゐるのだ  
露軍は國境へ集中する佛戰車隊（下）





同盟高麗 海外正ニキリス 十四年九月四日

◎スイスも自立軍備へ

ヘチユリツヒ一發同盟

歐洲第二の動亂に備へて平和の國スイスも自立軍備に大意だ。

高麗は高射砲隊と迫撃砲隊









◎維新政府留日學生入京  
一東京一十四年九月五日  
興亞新建設の將來を背負つて立つ維新政府  
留日學生團三十六名は五日午前七時分東京  
京驛着列車で入京した  
寫眞は東京驛着の一行



同盟寫眞

特務ニニース

九月五日

◎獨逸海軍

「ベルリン」發同盟

英國海軍の北海封鎖に對抗してナチス海軍はいよ／＼出動、北海に硝煙うずまく大海戦はいよ／＼開始せられた  
寫眞は

一、同潜水艇







◎蓮沼中將清京参内

一東京一十四年九月六日  
侍従武官長に転側近に二度の奉仕の光榮  
に感激しつ六日午前九時半入京した蓮沼  
中將は東京驛梅間に於て畏き邊りより御差  
遣の横山侍従武官より聖旨の傳達を受けた  
のち歸山將軍の威容凜として宮内省差廻し  
の馬車にて同九時四十一分二重橋正門から  
晴れて参内した。  
寫眞は参内の蓮沼中將（東京驛前にて）







同盟軍

特殊ニユース

九月六日

◎ポロランド陸軍

(ワルソレ) 發同盟

軍は

二、同歩兵砲を以つて攻撃する歩兵部隊









◎ 獨逸機關銃隊の活躍

同位寫眞ニユース

九月八日





◎右、波蘭の新首都ルブリン市を進軍する  
波蘭軍







◎慶明二回戦  
一、三回表明大松井の左飛に三壘の伊藤  
本壘を突き惜しくも刺さる





◎天津水善

一、活躍する移動醫療班

二、復興に忙がしく水上を往來の人々

(日本租界にて)

(九月九日)



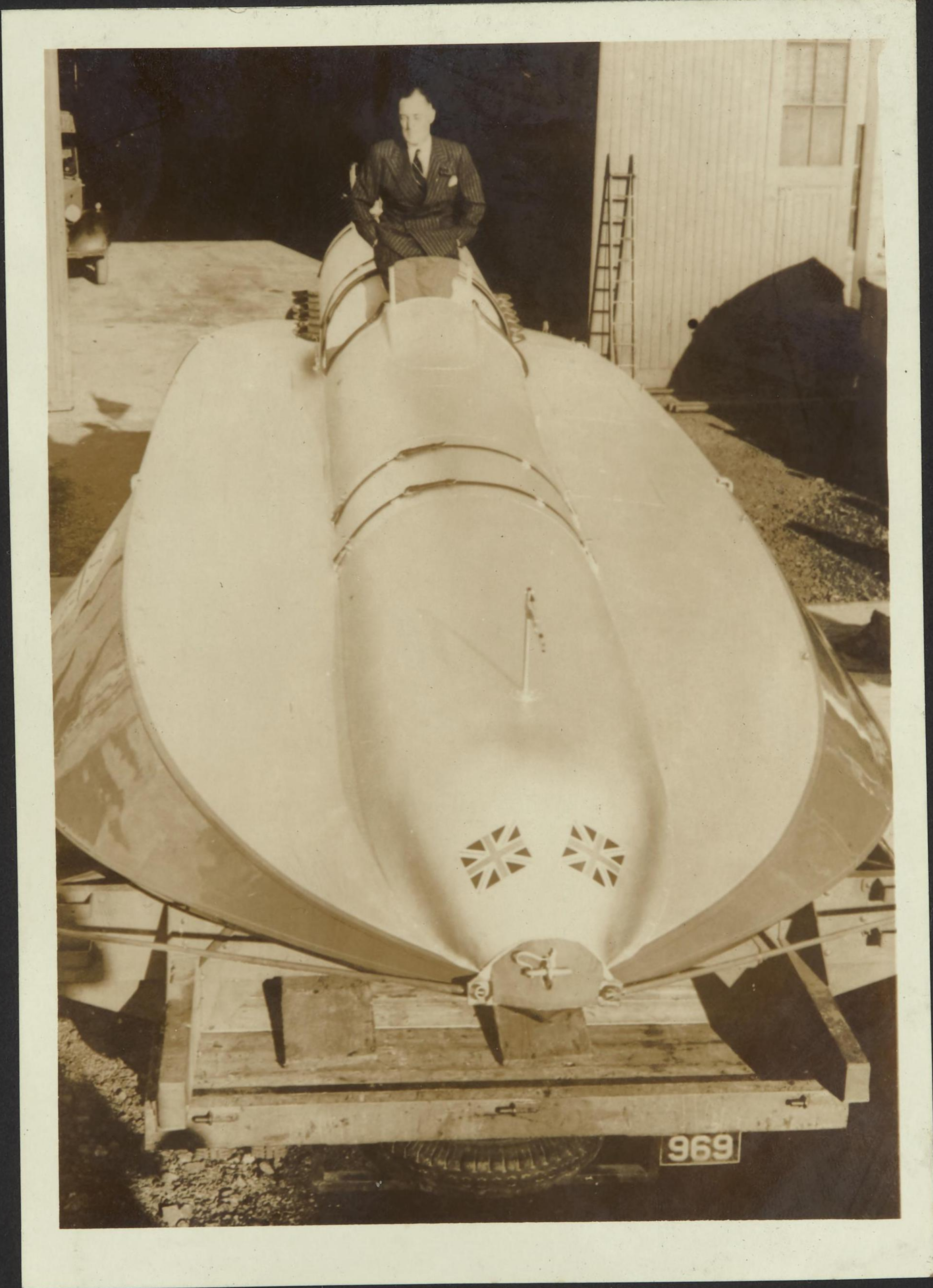
同 亞 島 具 海 外 日 ニ ユ ー ス 十 四 年 九 月 九 日

◎ 超 快 速 航 空 機 完 成

（ ロ ン ド ン ） 發 同 盟

英 國 の ス ピ ー ト 王 マ ル コ ム ロ キ ヤ ン プ ベ ル 氏  
の 銳 意 製 作 中 で あ つ た 超 快 速 航 空 機 は 此 の 程 完 成  
近 く 試 運 轉 を 行 は れ る こ と に な つ た  
寫 眞 は キ ヤ ン プ ベ ル 氏 と そ の 快 速 艇









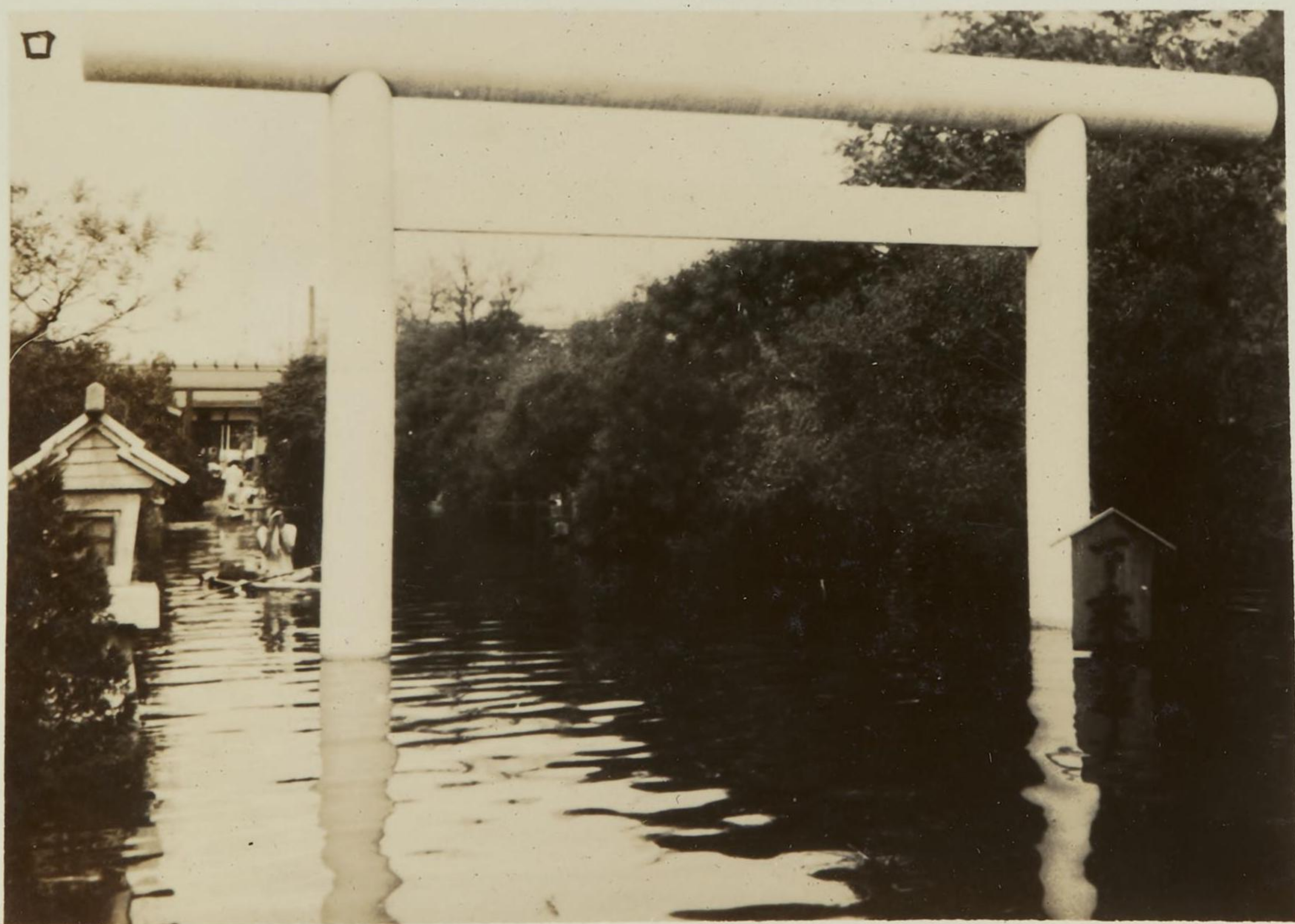
◎ 皇太子殿下御近影

同臣邸

内地ニニリス

九月九日





◎天津の水害  
1. 洪水は白粉車、引揚作業  
2. 水中に沈んだ天津神社



同盟写真 海外A ニュース 十四年九月十一日

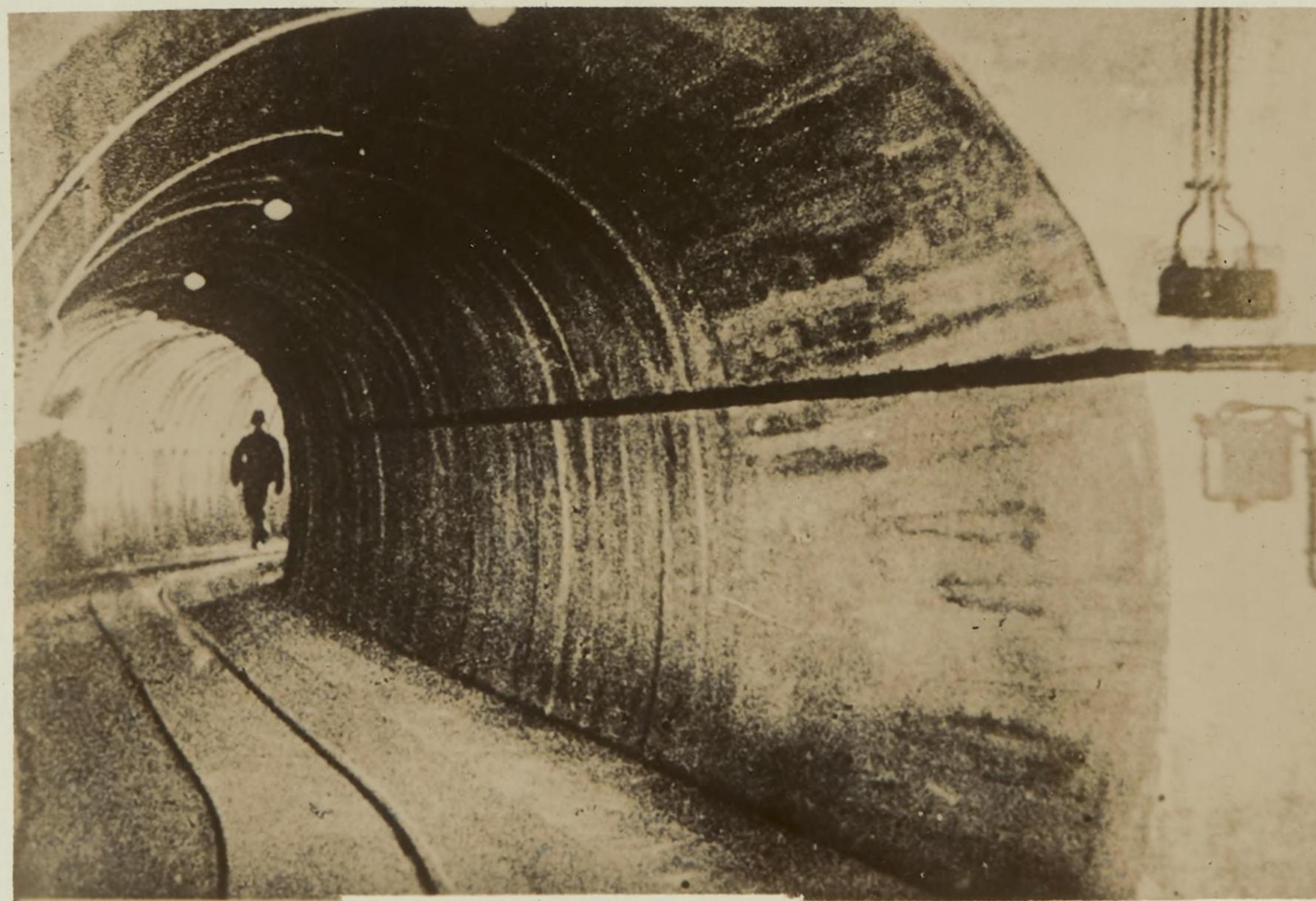
◎歐洲第二次大戦へ

來るものは遂に來た、ナチス。ドイツは遂に  
ポーランドの大半を席捲し大軍を擧げて西部  
國境へ集中、せんとしいよ 本格的會戰の  
機は熟した

寫眞は

- 一、佛機いざ來れと待機する西逸要塞ジューグ
- 一、フリード線の高射砲隊
- 一、同要塞の各部を連絡する地下の大トンネル









一、鐵とベトノに固められた大防塞マジノラ  
一、インを守備する防守備隊  
一、地下の坑道をトロツコに依つて配備される歩兵隊









（東京）十四年九月十二日  
天皇陛下に於て正午、豊明殿に出御秩父  
宮殿下にも御臨席の上、阿部首相以下現閣  
僚並に平沼前首相以下前閣僚を召され御慰  
勞の思召を以て午餐の御陪食を仰付けられ  
た。寫眞は御陪食に参内の阿部首相（於官  
邸）





◎滿洲國が松本博士らに贈勳  
滿洲國法典編纂にあたりその中心となつて  
盡力した貴族院議員松本~~丞~~治氏ほかが法  
學界の權威六氏に對する滿洲國勳章贈勳式  
は十五日午前十一時から麻布滿洲國大使館  
で舉行される  
寫眞は贈勳される松本博士





◎皇后陛下大宮御所發啓  
 皇后陛下には十二日保科女官長御陪乘、廣  
 幡大夫以下側近を隨へさせられ略式自動車  
 兩樽にて午前十一時五十分宮城御出門御久  
 方振り大宮御所へ行啓あらせられた  
 寫眞は大宮御所前にて謹寫





東京一十四年九月十二日  
 獨佛白兵戰開始  
 祖國急の飛報を耳にしながら逸る胸を押し  
 へて獨波學生が仲よく早稻田國際學院で同  
 じ念願の日本勉強に机を並べてゐる  
 寫眞は右からグロナウ嬢（ドイツ）ランガ  
 ー君（ドイツ）ボーランド君（ドイツ）カー  
 ル君（ドイツ）ボーランド君（ドイツ）カー





時局に即應し支那事變處理を完遂せんとせんが  
ため今般新たに支那派遣軍總司令部が編成  
され總司令官に西尾壽造大將が親補された  
運征四郎中將は總參謀長を仰付けられた  
寫眞は兩將軍（於陸相官邸）





◎戦時下第廿七回乃木祭  
一東京一十四年九月十三日  
乃木大將逝いて廿七年、第廿七回乃木祭は  
十三日午前八時から赤坂乃木神社で厳かに  
執行された。  
寫眞は小學生の参拜





◎西尾、板垣兩將軍靖國神社參拜  
 事變解決の脚光を浴びて全國民の輿望を擔  
 つた西尾支那派遣軍總司令官板垣總參謀長  
 は十三日午前十一時嘉徳を隨へ靖國神社へ  
 參拜した。寫眞は於靖國神社





◎國民體操の實演  
（東京）十四年九月十三日  
厚生省では日本人の身體を基礎に日本人獨  
得の體操たる大日本體操三種を制定し十二  
日夜七時から日比谷公園大音樂堂でその發  
表會を行つた  
寫眞は體操の發表會





全政を挙げて動乱へ (昭和十四年九月十四日)

（歐洲各都市よりニューヨークへ電送、ニューヨークより  
日航森村氏やイナクリツハト南洋定期  
航空機にて九月十三日送達）

と總統の絶叫する「勝利か死か」の聲に独逸鉄血  
軍は怒濤の如くポーランドへ進撃し遂に歐洲  
は爆発。九月三日英佛の対独宣戦に二十一年  
にして再び全政は硝煙渦捲く動乱の戦野と化  
寫と具は

▽ 独逸機械化部隊何れを恐れんとコリドール地方へ続々  
進軍するポーランド歩兵部隊

▽ 独逸軍空襲の惨禍を慮り郊外の安全地帯へ







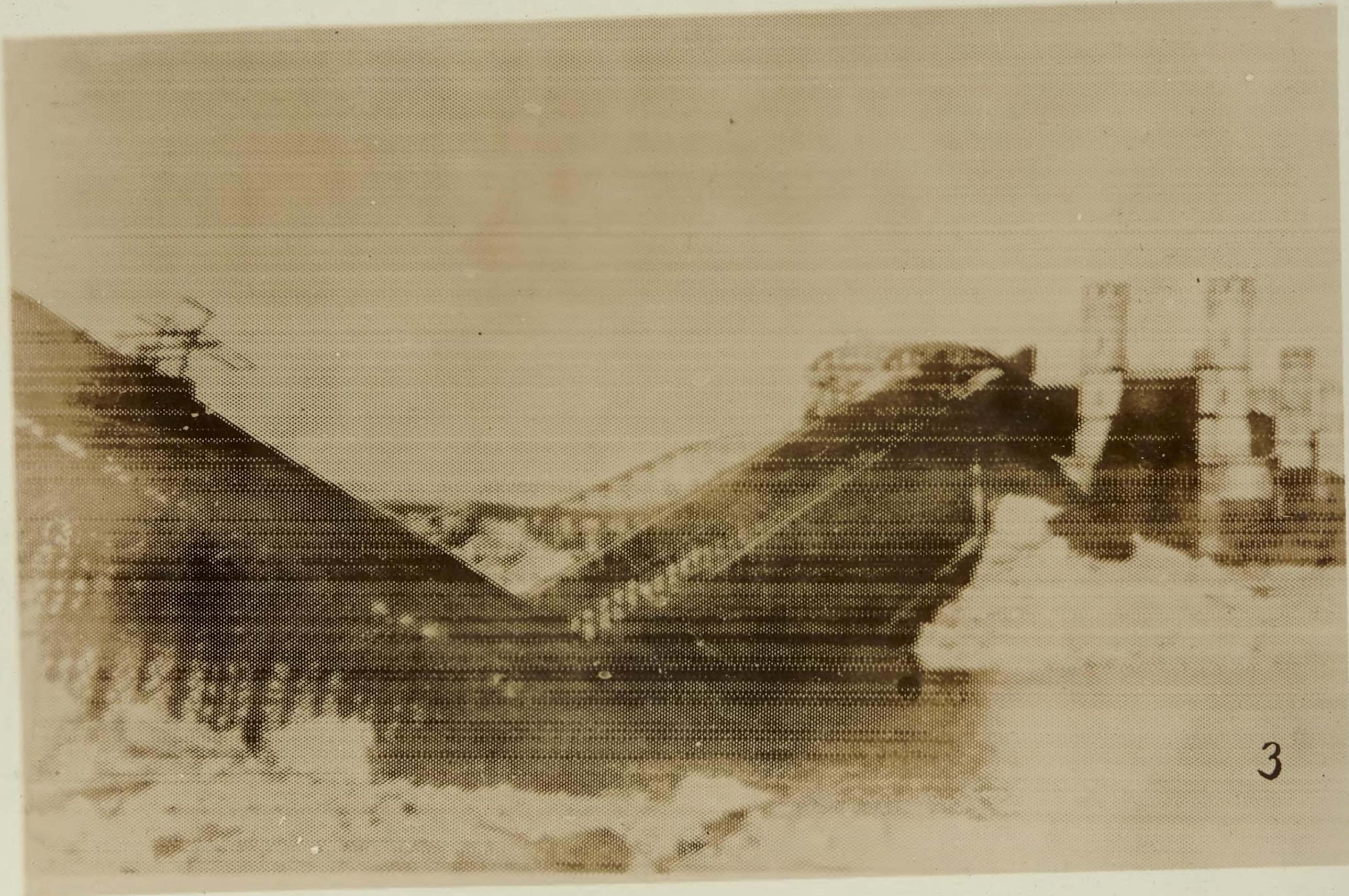
同盟寫眞ニエース

九月十四日

○

独逸爆撃機ホーランドの鉄橋  
爆撃す (九月四日、ベルリン又元)







○  
ホーランド村落を焼拂ひて敵軍  
を掃蕩する 独逸軍

(九月四日ベルリン電)

— 電送寫真







同盟軍の海外にユニス 十四年九月十五日

◎戦況概し

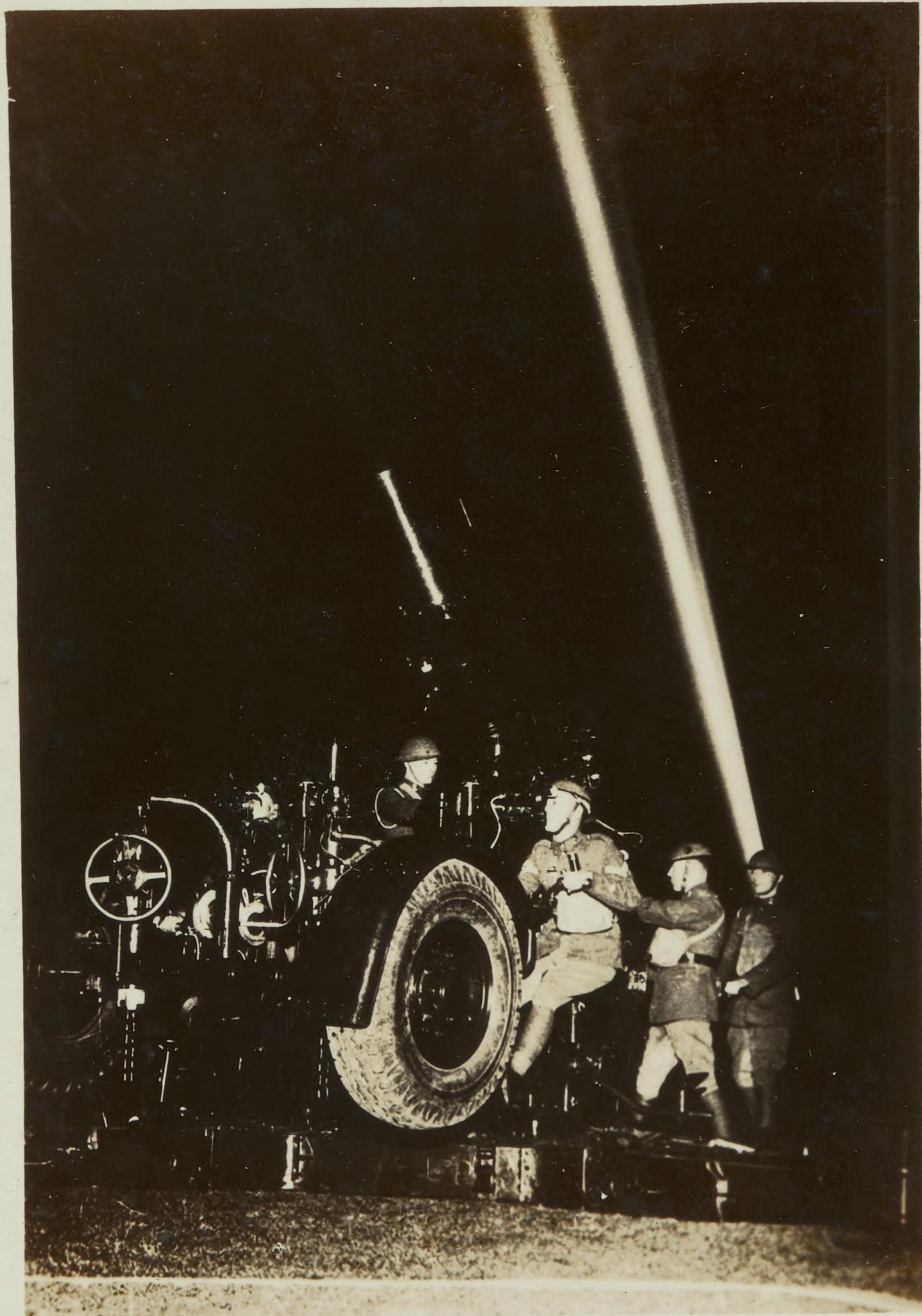
一、ロンドン一發同盟

東部戦線に於けるホーランド軍の全面的敗色に勢を得た獨逸國防軍は一舉英佛に反撃を加へんとする態勢に英國軍部當局の緊張はその極に達してゐる

寫眞は

一、ロンドン市近郊の防空陣









一、北海へ出動する英國艦隊の後英・ロドネ  
イ・號（手前）とネルソン號





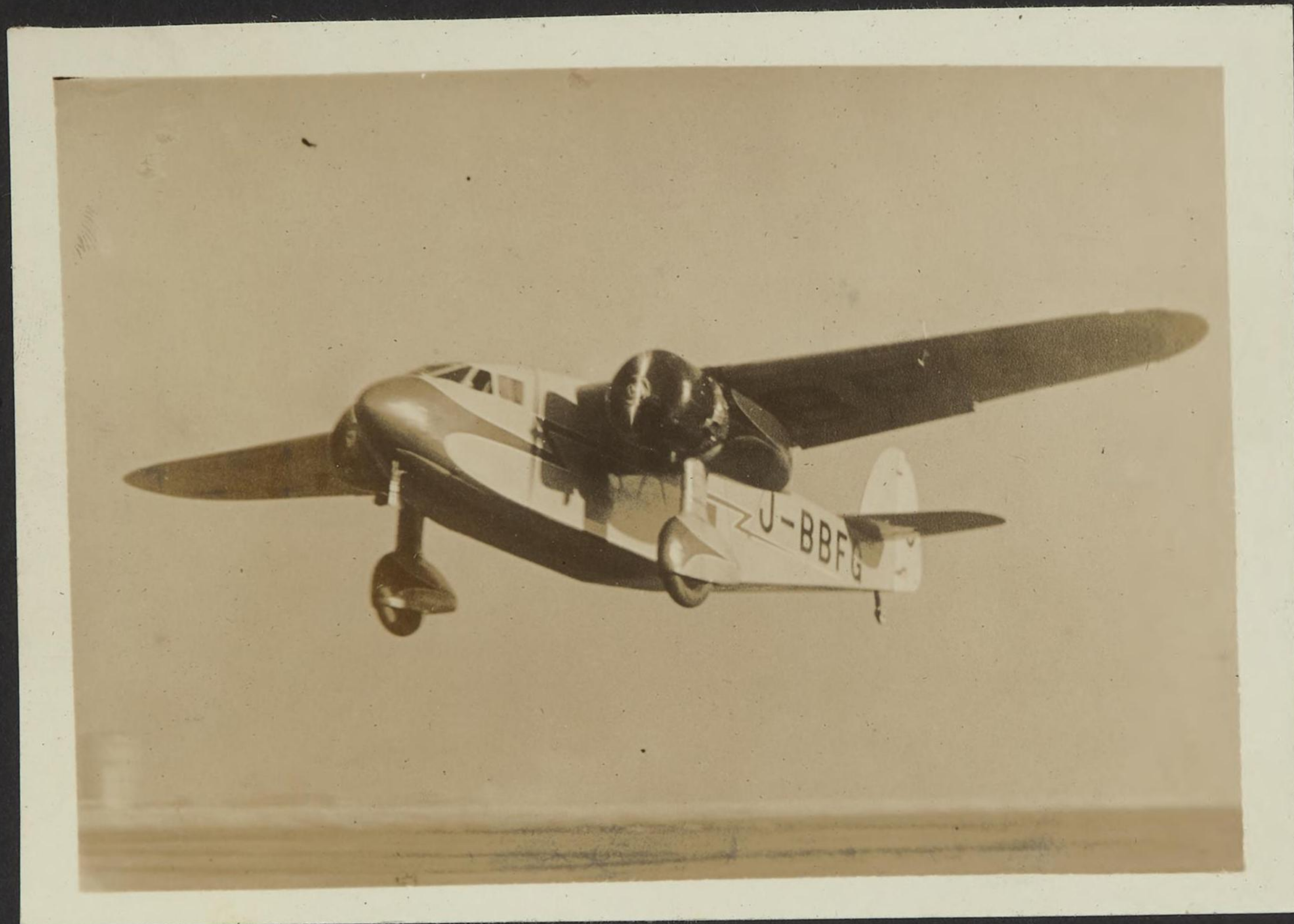
◎伊弉船コレオニ港横濱入港  
一東京一廿四年九月十六日  
今春日本を訪問したイタリヤ極東艦隊旗艦バ  
ルトロメオ・コレオニ一號一五千噸一は入  
渠のため十六日ヒヨツコリ横濱へ入港した  
寫眞は横濱入港の伊太利旗艦





◎ 英連技術委員會初總會  
興連技術委員會第一回總會は十六日午前十  
時三十分より首相官邸に開催した  
馬長城柳川長官の挨拶





◎完成した航空局の試作機  
航空局が國內定期航空に就かせしむるため  
試作した中型旅客機より型は去る六月完  
成爾來證明書を發し來る十九日。二十日の  
兩日午後二時から羽田空港披露飛行を行ふこ  
となつた。寫眞は航空局試作機

検査を行つて來たか好成绩なので十六日  
塔鏡





◎産業戦士の相撲大会  
 一東京一十四年九月十七日  
 警視廳工場課及東京工場協會共同主催の工  
 場體育相撲大會は十七日午前八時から靖國  
 神社相撲場で華々しく舉行、統後産業戦士  
 の意氣を示した。

寫眞はその相撲大會



◎植田大將歸還  
 一神戸電話一前駐滬特命全權大使兼關東軍  
 司令官植田謙吉大將及第一線に武勳を樹て  
 た磯谷廉介中將は十七日午前七時半神戸入  
 港の日満連絡船黒龍丸で田尻中將、参謀本  
 部岡田大佐、陸軍省川原大佐など軍官民多  
 数の出迎を受けて暗れの歸還をなし)た  
 寫眞は黒龍丸船室の植田大將





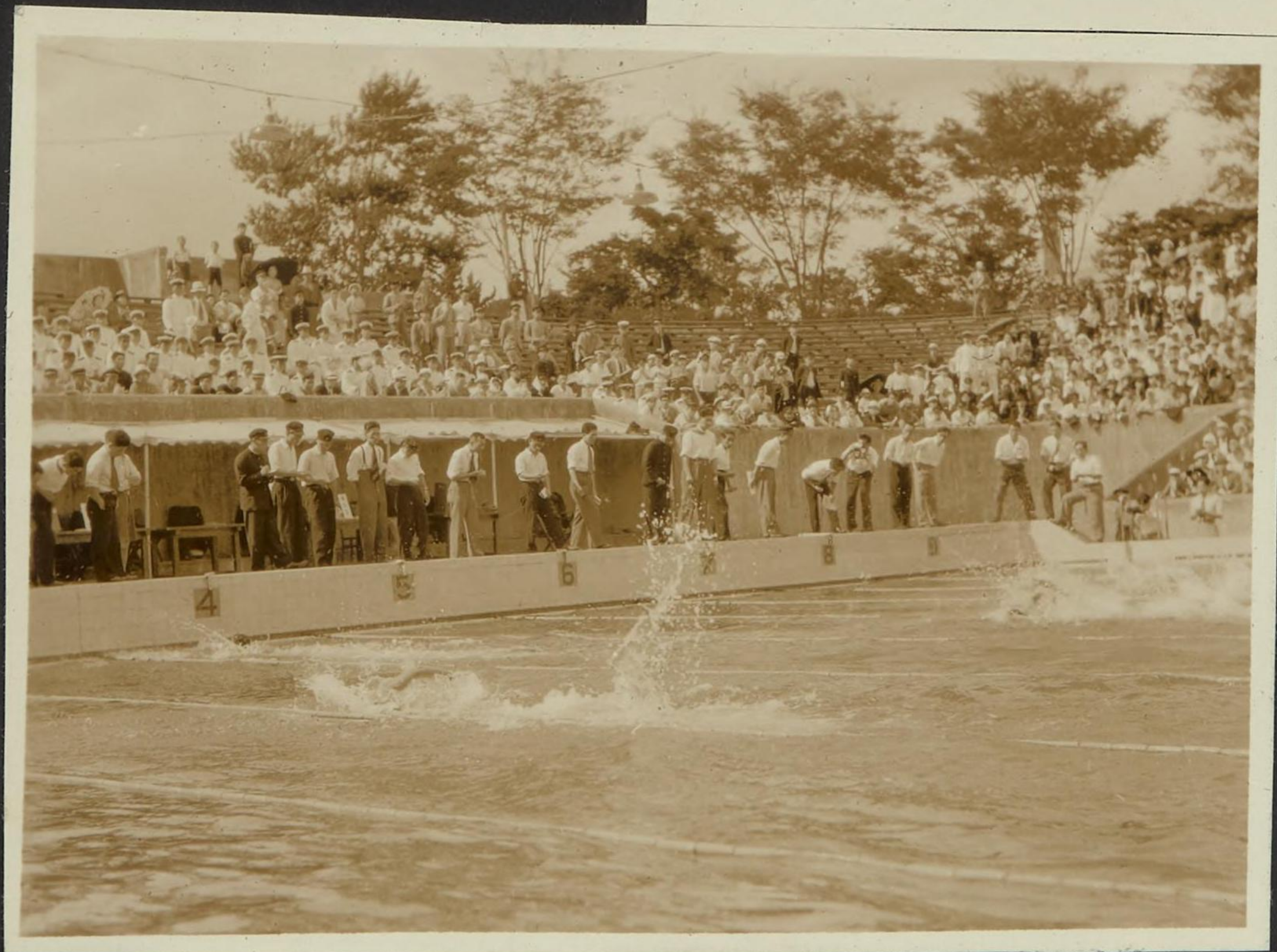
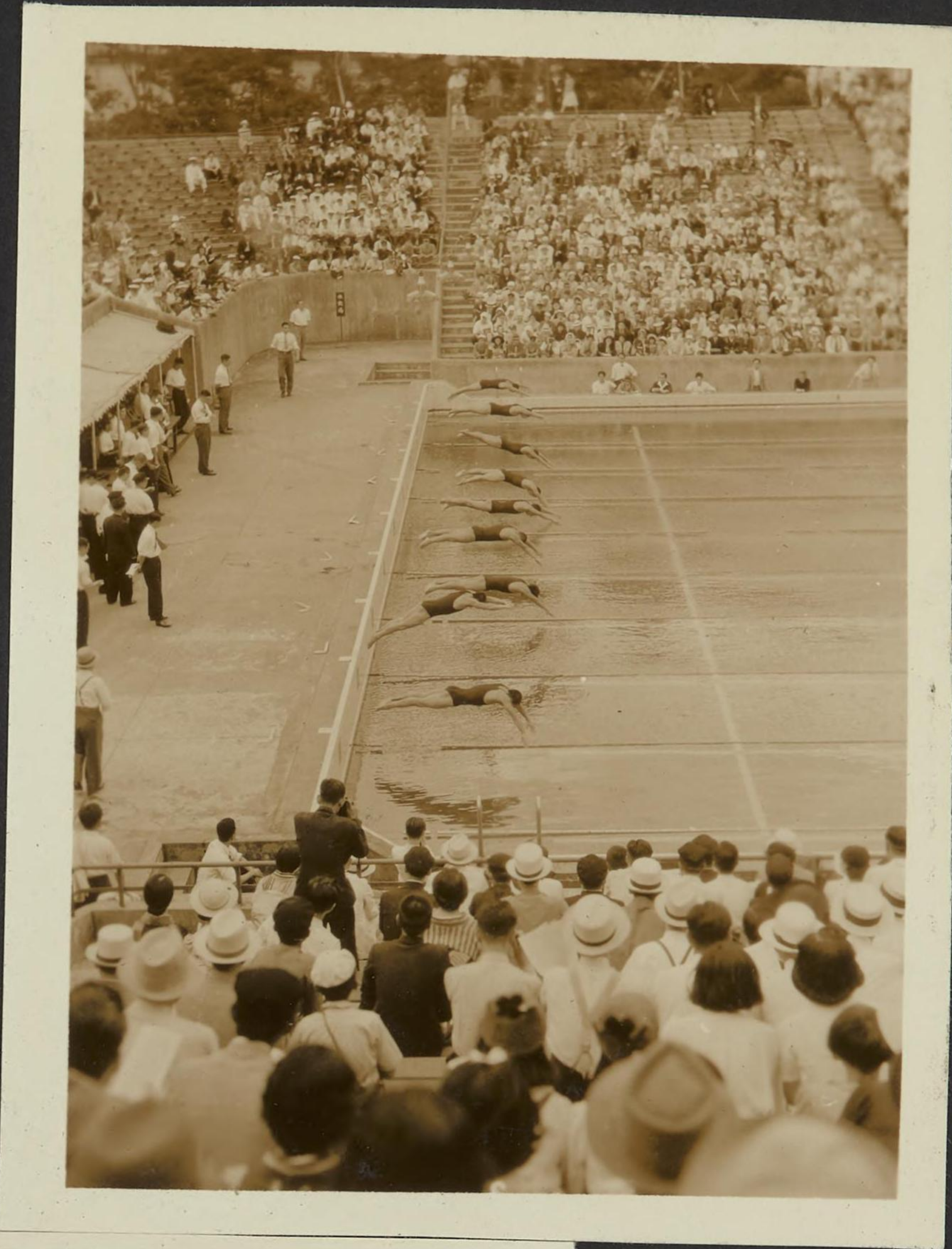




◎日本學生水上選手權大會  
 第十八回日本學生選手權水上競技大會は十  
 七日午後零時半から五十米自由型決勝に依つ  
 つて開始された。  
 一、百米平泳で優勝の日大葉室君（日本新  
 記録）一、四百米自由型スタート一、百  
 米自由型ゴール一番は立大の新井君











◎校長先生の演説  
 東京市教育委員の江市内の校長六百余名を  
 めて十八日より廿四日まで「成語座」と銘  
 を打つて科學的理性に根さす教育精神を涵  
 養する事をなす第一會場の麴町區永田町  
 小學校で十八日午前十時より第一班を皮切  
 りに開演式を挙行した  
 眞眞に願是木市長の挨拶





◎ 陛下下の滿洲事變記念日  
 (東京) 十四年九月十八日  
 一億國民の思ひ出も新たに陛下(陛下三度迎へ  
 る滿洲事變八周年記念日の十八日在京滿洲  
 關係者から成る「滿洲友の會」ではこの日  
 正午から處の門の滿鐵ビルに記念午餐會を  
 開催した。眞は純潔精勵理事長の挨拶を





帆 船 二 百 六 十 四 号 大 平 洋 横 断 の 壯 舉 を 遂 げ て 一 萬  
 千 二 百 六 十 四 号 大 平 洋 横 断 の 壯 舉 を 遂 げ て 一 萬  
 丸 船 二 百 六 十 四 号 大 平 洋 横 断 の 壯 舉 を 遂 げ て 一 萬  
 航 路 日 本 船 二 百 六 十 四 号 大 平 洋 横 断 の 壯 舉 を 遂 げ て 一 萬  
 六 時 横 濱 港 内 二 番 埠 頭 全 國 九 州 地 方 商 船 學 校  
 寫 眞 日 本 丸 船 二 百 六 十 四 号 大 平 洋 横 断 の 壯 舉 を 遂 げ て 一 萬  
 丸 西 澤 船 長 一 圓 内 日 本



◎首相貴院各派代表招待

一東京一十四年九月十九日

貴院各派代表招待晩餐會は十八日午後六時  
から首相官邸で開催された

寫眞は於首相官邸

◎大臣夫人の綯帶卷き

阿部首相夫人光子さん以下新大臣の夫人達

は日赤本社篤志看護婦人會の恤兵奉仕作業

に加はつた。寫眞は一前列左より一

小原内相夫人、伍堂農商相夫人、阿部首相

夫人、永井鐵相夫人、後列左より一青木

藏相夫人、吉田壽相夫人、遠藤書記官長夫

人









◎植田謙吉大將歸還  
前關東軍司令官兼滿洲國全權大使陸軍大將  
植田謙吉大將は滿洲國の建設に幾多の功績  
を殘し十八日午後二時十一分小田原驛着歸  
還同夕國府津館に入つた  
寫眞は於國府津館





◎海南島訪日視察團入京  
一東京十四年九月十九日  
海南島訪日視察團々長謝氏等一行八名は十  
九日午前八時東京驛着入京した  
寫眞は於東京驛





◎テレビジョンの公開実験  
 一東京一十四年九月二十日  
 東京芝浦電気會社マツダ支社では東京電氣  
 會社、日本ビクター、日本コロムビアの諸  
 會社協力の許にテレビジョンの研究を續け  
 て来たかこの程その實用化が見事完成した  
 ので發賣に先立ち廿七日迄日本橋  
 高島屋ホールで公開實驗放送が行はれる  
 寫眞は發信所の實況





◎結核豫防會總裁官殿下奉載式  
 結核豫防會ではかねて秩父宮妃勞律子殿下  
 を同會總裁に奉戴すべく御許諾を得てゐた  
 が廿日午後二時から丸の内東京會館に嚴肅  
 な總裁官殿下奉戴式を舉行した。  
 寫眞は小原内相奉答文



◎植田前司令官入京  
在滿三年滿洲國發展に偉大な足跡を残した  
前關東軍司令官植田謙吉大將は廿日午前九  
時四十分東京驛着列車で晴れの入京をなし  
直に宮中に参内した。  
寫眞は東京驛にて







◎神宮夏季大會開幕

（東京）十四年九月二十一日

第十回神宮大會の劈頭を飾る夏季大會水上  
ヨット兩遊技の役員及び水上遊技、ヨット  
選手團一千五百名は廿一日午前九時代々  
木練兵場入口に参集、明治大帝の御靈に對  
し眞摯なる祈りを捧げた後代々木口より四  
列縦隊で外苑水泳場まで大行進を行ひ午前  
十一時半から同所において水上、ヨット合  
同開會式を舉行した

寫眞は

一、神宮参拜

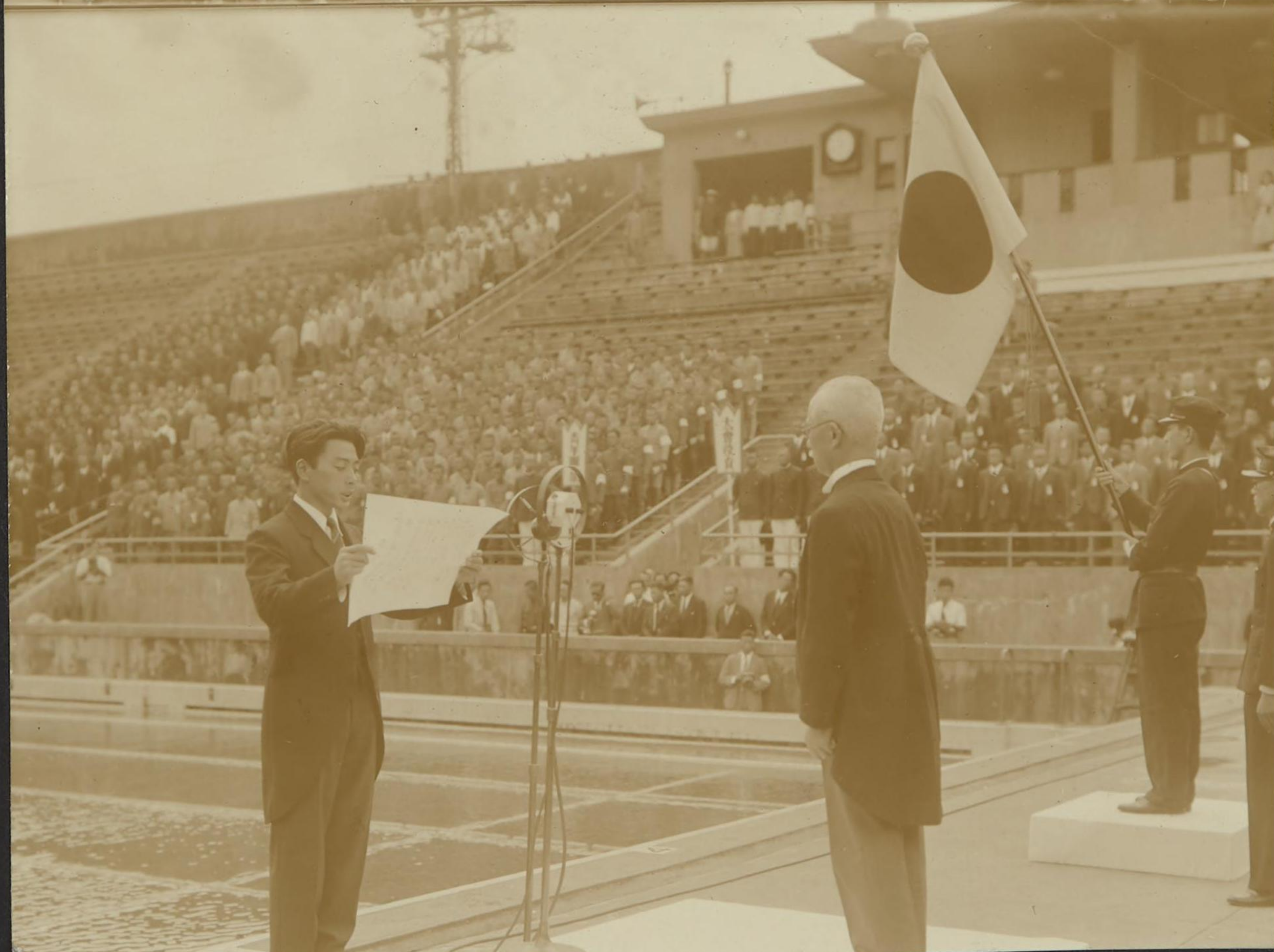
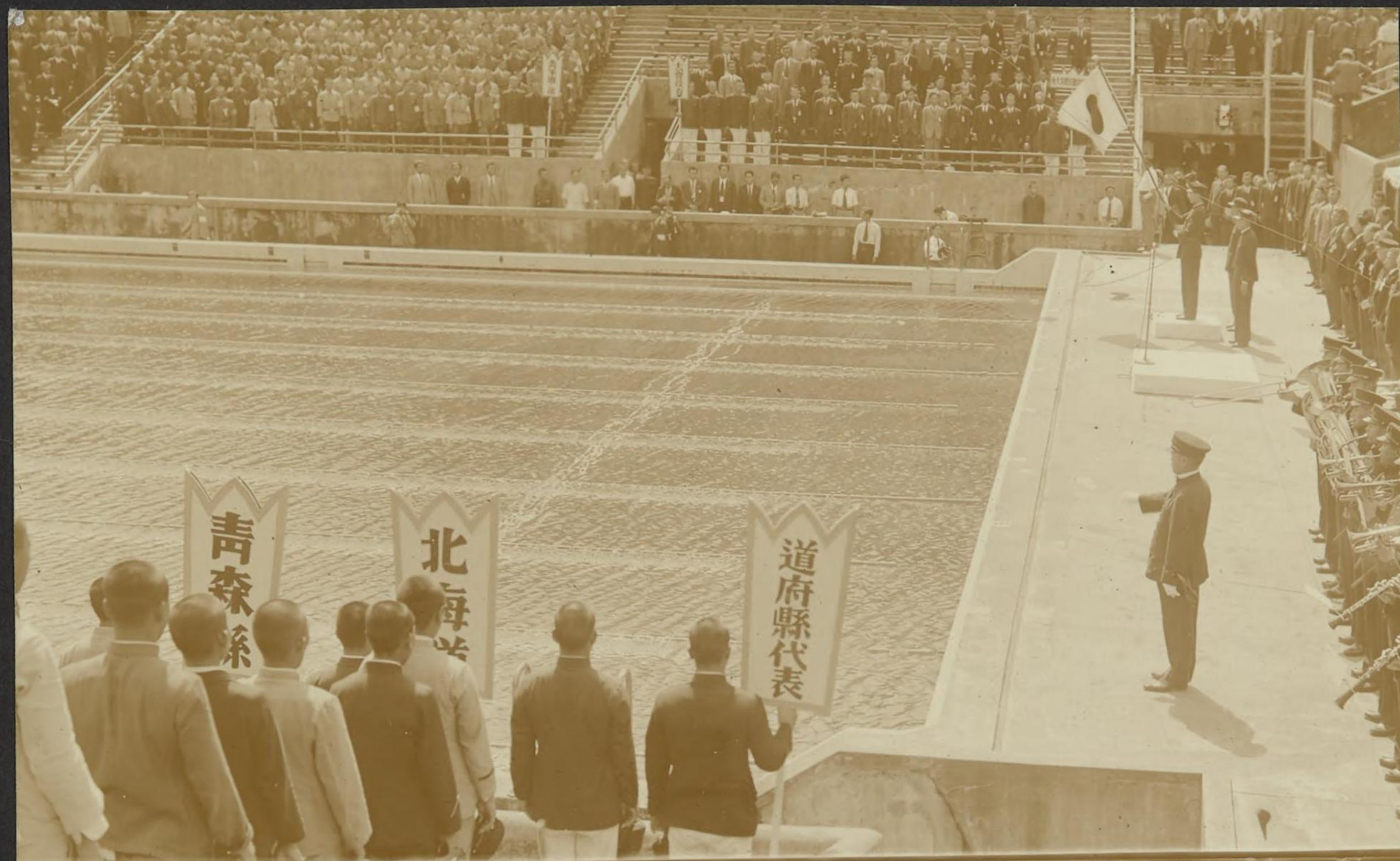
一、聖恩の旗奉迎

一、選手代表宣誓式













◎柳川長官中南支へ  
一東京一十四年九月廿二日  
柳川長官は廿二日午前九時東京  
歸出發約三週間の豫定で中南支方面を視察  
することとなつた。眞は東京歸にて



同盟寫真ニヨリ 九月廿二日

◎新政權發足への歴史的會談（十九日南京）  
汪兆銘（中央）王克敏（右）梁鴻至（左）  
の三氏會談







◎ 中文へ行くバスガール  
上海華中自動車會社からの求人に応じて大  
陸へ女車掌として進出する大和撫子十八人  
の一行は廿一日夜八時元氣一杯東京驛を出  
發した。  
写真は東京驛にて





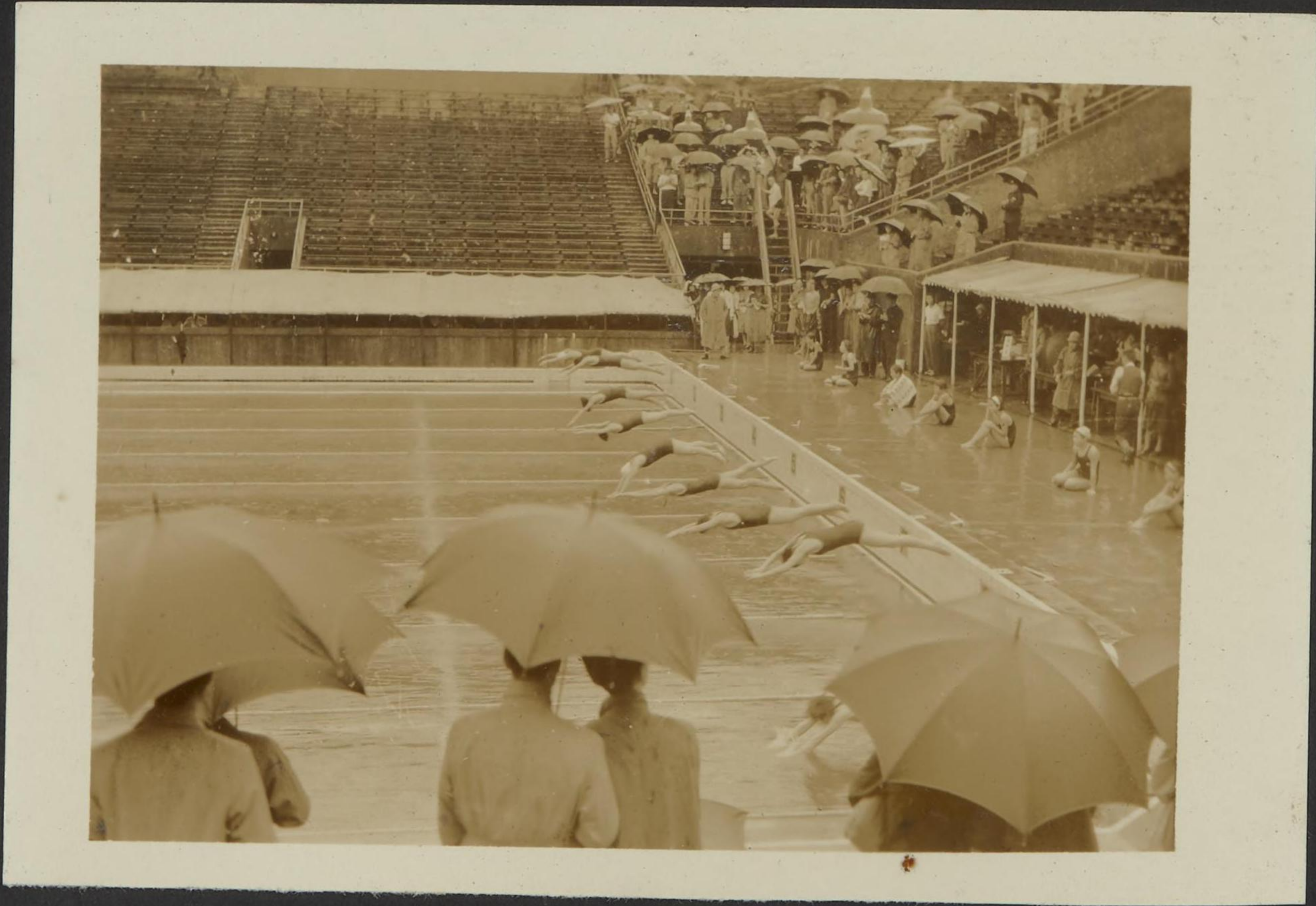


◎野村大將外相就任受諾  
 一東京十四年九月廿三日  
 外相就任の交渉を受けたる野村吉三郎大將は  
 廿三日朝内閣首相に受諾の旨回答をなした  
 よつて首相は廿五日官中の御都合を伺つて  
 参内正式に奏上することになつたが親任式  
 は同日奉行される筈  
 東京は學智院長室にて



◎秩父宮殿下御官大會へ  
第十回明治御官國民體育大會總裁にあらせ  
られる秩父宮殿下には同夏期大會第三日自  
の廿三日明治御宮外苑水泳場に成らせられ  
銃後若人の熱戦を台覽あらせられた  
寫眞は  
一、台座の秩父宮殿下  
一、雨中で接戦の女子中等府縣對抗一〇〇  
米繼泳決勝







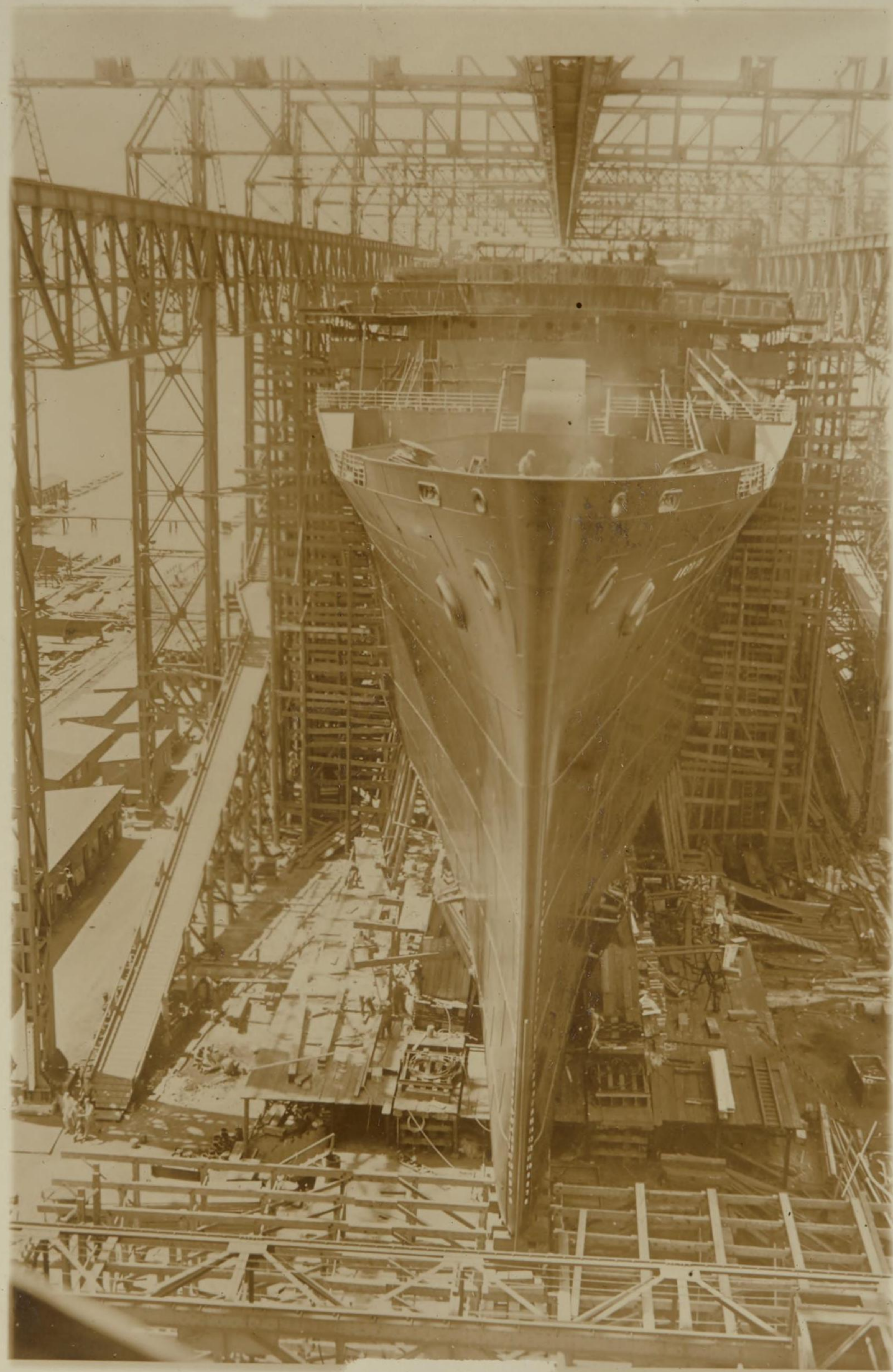
同盟軍真部九月廿四日

四、大西洋の女王完成近し

リニコーボートニコーズル完同盟

米の造船十年計畫の中心として千七百  
弗、全長七百二十三呎の大西洋横断旅客  
船、アメリカ沿岸の完成は、着々進行  
来春は、その雄姿を洋上に浮べる筈  
富島は、アメリカ沿岸の船先







四、動乱の恐れ

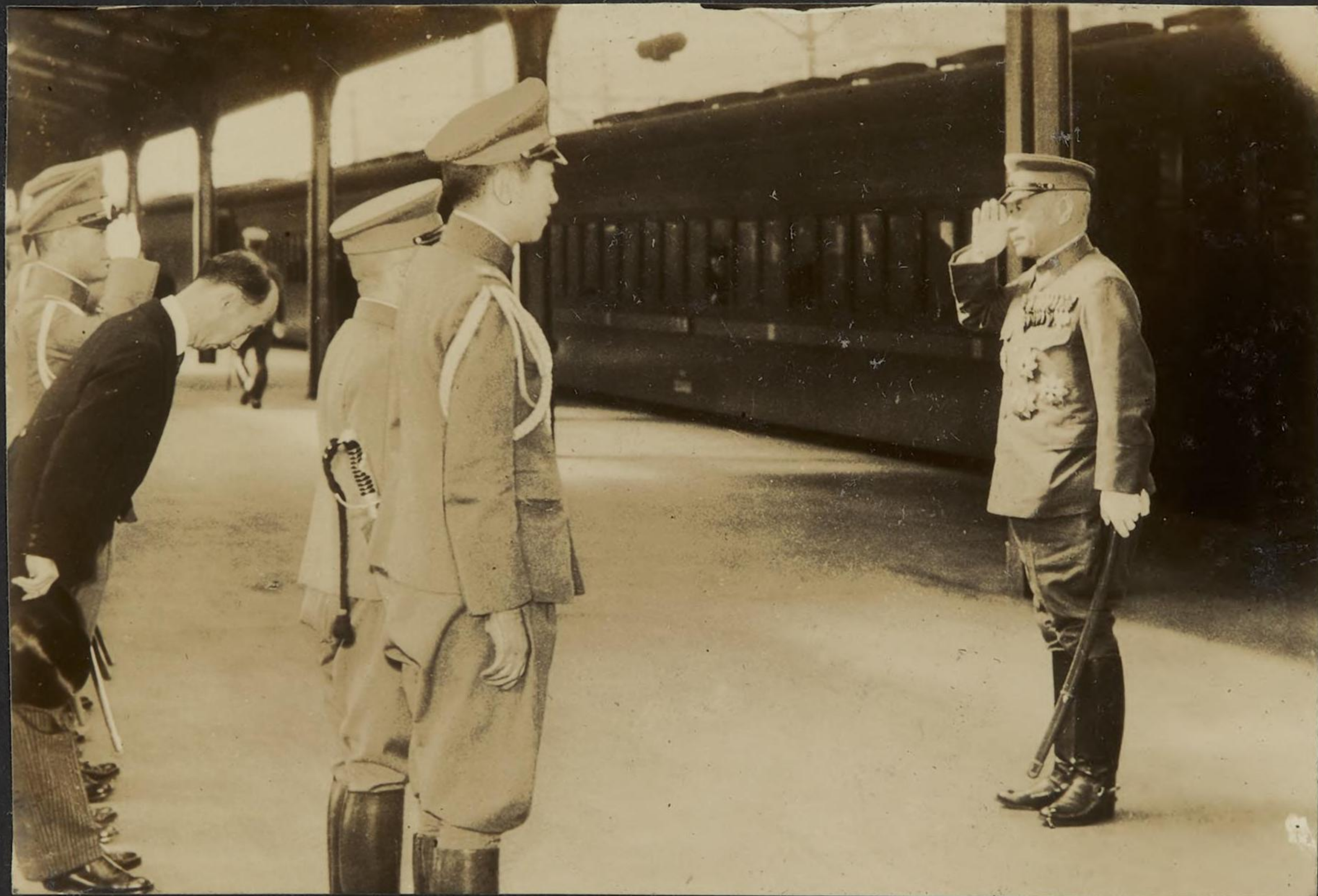
一、ロンドン市ハイポパークの防空陣地  
構築中

一、政府の宣大発表を聞くべく国会  
議事堂前に殺到せる群衆









◎杉山大將歸京  
 北支派遣軍最高指揮官として  
 をたて今回軍事參議官に親補せられた杉山  
 元大將は廿五日午前九時三十分東京驛着晴  
 れの入京、直ちに宮中に参内した  
 寫眞は竹田宮李王兩殿下に御挨拶の杉山大  
 將（於東京驛）





◎西尾總司令官赴任  
 (東京)十四年九月二十五日  
 支那派遣軍總司令官西尾壽造大將は板垣總  
 參謀長以下幕僚を隨へ廿五日午前八時三十  
 分東京驛發赴任の途についた、途中伊勢神  
 宮、桃山御陵に參拜をなし廿六日午後十時  
 五十三分京都驛發一路任地に向ふ筈  
 寫眞は於東京驛



◎野村新外相事務引継ぎ  
野村新任外相の親任式は廿五日午後三時宮  
中に於いて執り行はせられ四時より外務省  
大臣室に於いて阿部前兼攝外相との間に事  
務引継ぎをなした。  
寫眞は事務引継ぎの新舊外相







(天津)

三 新らしき土を見せた住吉街で婦人連も混つ

て一家一人のパケツ奉仕

四 排水ポンナの放列







同出寫眞 海外△ニユース 十四年九月廿六日

◎英空軍出動

(ロンドン)發同出

○○方面へ出動する英空軍